

迎春 2020

“ぬくもりと豊かさを実感できる
明るい未来づくり”の実現に向けて

平成31年元旦。霧島ヶ丘公園には、多くの市民が初日の出を見に集まっていた。

新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい2020年の新春を穏やかに迎えられることと心からお慶び申し上げます。

また、平素より市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

「令和」となり初めての新年を迎えるにあたり、市民の皆様が明日への夢と希望を持ち続け、力強く前進する「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」の実現に向けて取り組んでいく決意を新たにしているところです。

人口減少や少子高齢化の進展とともに、「人生100年時代」が現実のものとなりつつある中で、「AI、IoTなど情報技術の進歩」や「働き方改革」など、我々の社会・生活スタイルは大きく変化してきています。

そのような中、昨年、本市では令和元年を初年度とする6年間の「第2次鹿屋市総合計画」を策定し、「ひとが元気！まちが元気！『未来につながる健康都市かのや』を、まちづくりの将来像として定め、各種施策に取り組むなど、新たな

業や地域の身近な課題解決のための有償ボランティアなど、「共助」の取り組みが着実に各地域へ広がり、地域での支え合いが進んでいます。地域産業の活性化については、農業の作業効率化と生産性の向上のためのスマート農業の推進のほか、食品製造業など5社と立地協定を締結したことにより、新たな設備投資や雇用が生まれています。

さらに、本年中に市内全域に整備される光ブロードバンドは、新たな産業と雇用を創出するきっかけとなることが期待されます。

防災については、近年の台風や豪雨による災害を教訓とし、大規模自然災害に備えた強じんな地域を作るための計画策定をはじめ、災害時の指針となる防災マップの見直しや河川流域の浸水被害の軽減・解消に向けた取り組みを進めているところです。

そして、今年「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催され、本市では、バレーボール(成年女子、精神障害者の部)、ボート(全種別)、自転車(ロードレース)、スポーツウエルネス吹矢が行われます。

48年振りに鹿児島・鹿屋で開催さ

まちづくりのスタートの年となりました。

子育て支援や次代を担う人材の育成については、幼児教育・保育の無償化が始まったほか、妊娠・出産・育児を切れ目なくサポートする取り組みを充実するとともに、現在、県民健康プラザ健康増進センター内に、乳幼児から小学3年生までの児童とその家族が安心して利用できる新たな子育て支援の拠点施設の整備に向けた準備も進めています。

また、この春には、鹿屋女子高等学校が大きく生まれ変わります。新しい校舎や多目的ホールでの授業等をはじめ、将来の目標に合わせて科目を選択できる総合選択制を2、3年生に導入するなど、生徒たちの可能性を引き出す学習環境を整えるとともに、地域に開かれた学校づくりを目指します。

高齢者支援については、長寿化に伴う医療費等の抑制と健康寿命の延伸を図るため、地域における介護予防や健康づくり活動の定着・拡大を進めています。

このほか、交通手段を持たない高齢者等に対して買い物等の交通手段を提供するドライブサロン事業の拡大を進めています。

「ささえる！」それぞれの立場で市民の皆様が力を結集し、選手や応援に来られる方々をお迎えするとともに「スポーツのまちかのや」の魅力を発信していきたいと考えています。

次代を担う子供たちに輝かしい未来と希望をつなぐため、市民、市議会、各種団体の皆様と一体となつて、市勢のさらなる発展に全力を注いでまいりますので、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、2020年が市民の皆様にとりまして、幸せに満ちあふれる良い一年になりますよう心から祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。



鹿屋市長

中西 茂